

「楽器を楽しむ日」 in日本特殊陶業市民会館

学生取材レポート

2019年8月発行

音楽サービス創造 2年
岩清水 祐慈
管楽器リペア1年
工藤綾華



「楽器を楽しむ日」とは？

1970年に全国楽器協会により制定された「6月6日は楽器の日」にちなんで、中部楽器協会(中部地区の音楽や楽器に関わる企業が集い、様々な企画を連携して実施する協会)が2013年より独自に開催している、楽器・音楽ファンに向けた参加型イベント。メインステージや軽音ステージ、企業のブースがあり、「見て聴いて触って」を体感できます。本校も長年携わっていますよ。



軽音ステージは、高校生のエネルギッシュなライブ！
メインステージは、中高生やJABBERLOOPさんの迫力ある演奏！
ホワイエは、様々な企業がブースを出展！
1日音楽・楽器に楽しむことが出来ました！



☆製造や楽器商社、楽器店などで活躍中☆
こんなところに卒業生！！

演奏体験で特徴を
わかりやすく説明。

舞台裏では、テキパキ
指示を出しています。

丁寧な接客で、楽器の
魅力を伝えています。

メンテナンスに便利な
道具を紹介。



管楽器リペア科では

舞台の転換では、集中力と臨機応変に動く力が求められるので、リペア技術以外で自分の引き出しが増えました！



音楽サービス創造では

アンケートブースの手伝いや抽選会の準備から、顧客ニーズや流行を体感し、段取りも学びました！



インターン実習で体験！ 業界を支える仕事

ピアノ調律科では

楽屋の管理を通して、ホールでの仕事も学び、楽器技術以外の経験を積むこともできました！



ギタークラフトコースでは

企業（楽器店）ブースに入り、接客のスキルやギターメンテナンスの技術を磨きました！



まとめ

「イベントやステージを行うには、たくさんの仕事があること」「言われた通りに動くだけでは不十分であること」など学び、現場で働くには、主体性や柔軟な対応力が必要だと分かりました。

本校では、楽器の技術はもちろん、社会人に必要な考え方や働き方なども学ぶことができます。また、沢山の学科があり交流も多く、業界についてさまざまな角度から見ることができます。

本校もブースを出展し、学生の経験の場になり、業界で活躍する先輩方からもアドバイスを頂き、現場の声も聞くことができました。

インターンに参加した学生たち



学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）
中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル



0120-856-854

TEL:052-741-6788

学校案内無料送付中

URL: www.chubugakki.ac.jp

